

坂井市長 坂本憲男 様

## 市長として、「原発の再稼働に反対」を意思表示願います

2015年1月30日

いらんざ原発！坂井市民の会

日ごろ、市民の生命とくらしを守る市政にご尽力いただき、感謝申し上げます。

つきましては、今すすめられようとしている原発再稼働についてであります。

未曾有の災害をもたらした福島原発事故から、間もなく4年になりますが、今なお原因究明もされず、収束もしていません。大量の汚染水や放射性物質が環境を汚染し続けています。一旦大事故が起こったら、人間はこれを制御することができません。

使用済み核燃料の最終処分方法は未解決で、危険な核のゴミが貯まり続けています。放射能のゴミが安全になるには、何万年も何十万年もかかります。その間嚴重に保管し続けなければなりません。そんな負の遺産を大量に子孫に残していいのでしょうか。

福島では、今なお12万人余の人々が故郷を追われ避難生活を余儀なくされています。先祖伝来営々と築いてきた遺産をすべて無にしまいました。故郷へいつ帰れるか、全く見通しが立ちません。坂井市は、敦賀原発から50<sup>km</sup>圏です。チェルノブイリ事故は170<sup>km</sup>圏に避難命令が出されました。昨年5月の福井地裁判決は、250<sup>km</sup>圏住民に被害が及ぶと認定しました。事故によって、風向きによって、坂井市が安全などと言うことはありません。

危険な原発の再稼働をやめ、自然エネルギーへの転換をすべきです。ドイツでは、原発で3万人、今自然エネルギーで38万人の雇用が生まれています。自然エネルギーは無尽蔵です。この開発普及で、わが国は資源のない国から、エネルギーの自給が可能となり、電気代も安くなります。

この事故を契機に、国民の原発に対する認識は一変しました。原発事故の深刻さ、恐ろしさが、多くの国民の実感となり、世論調査でも、原発の再稼働に6割以上が反対しています。

このような状況にもかかわらず、安倍内閣は、原発の再稼働をすすめようとしています。

私たち「いらんざ原発！坂井市民の会」は、昨年8月「もう動かすな原発！福井県民署名実行委員会」の呼びかけにこたえて、坂井市民有志によって結成され、西川一誠知事に「原発の再稼働を認めないでください」という署名運動を取り組んできました。先ごろ、1月15日の第1次集約で、坂井市民の会6835筆、県全体として20万5207筆に達しました。近く知事に提出することになっています。

さて、再稼働が迫ろうとしている今日、市民の生命とくらしを守る立場から、坂井市長として、以下を実施されるよう要請いたします。

記

### 【要請内容】

1. 市長として、「原発の再稼働に反対」を意思表示して下さい。
2. ヨウ素剤を各家庭に配布して下さい。
3. 早急に原発災害避難計画(要介護者の避難を含む)を策定し、避難訓練をして下さい。
4. 自然エネルギーの開発普及に、行政の支援体制をつくって下さい。

## 市長の回答と意見交換

実施日時 2015年1月30日(金)10時～10時40分

参加者 市民の会；南、畑野、石森、竹内、松本、日元、南出、釣部、野波き、錦織、野波  
坂井市理事者；坂本市長、北川副市長、新開総務部長

<市長の回答>

要請1について 以前私は、40年経過の原発の稼働は不安がありダメと言った。今日の原発再稼働は国や県が判断すること。また原発地元の意見も尊重したい。坂井市として意見表明するのはむつかしい。

要請2について 県に問い合わせたところ、40<sup>km</sup>圏内との回答で、その予定はない。

要請3について 坂井市は、越前市・鯖江市の一時避難地域に指定されており、坂井市が避難対象になることは、石川県や富山県への避難となり、いまのところ想定していない。

要請4について 行政としての支援体制はないが、太陽光発電、風力発電の事業者が申請しており、現在市内には多くの太陽光発電事業者が参入している。

<意見交換>

**南 憲一** 昔、橿の三里浜に原発が来る計画があったが、地盤が悪くて若狭に行った。来ていたら大変、来なくてよかった。

**市長** ……(知らなそうな様子だった)原発はない方がいい。一番心配なのは、坂井市の農業や漁業、観光への風評被害だ。

**石森修一郎** 飯館村のように、南西の風に乗って坂井平野にセシウムが降ったら大変なことになる。コシヒカリはダメになってしまう。命と財産を守る市長としてどう思うか。

**市長** そんなことがあってはならない。

**南出直美** 以前広島にいたことがあったが、8月6日原爆投下時のサイレンを聞いた。原爆は恐ろしい。また福島原発事故から120<sup>km</sup>の栃木の娘が線量計で庭を測る姿を見た。この二つが私の署名を集める動機になった。

**市長** (うんうんうなずいて共感する風、しかしマスコミもおおり、特にコメントはない)

☆翌日の1/31、福井新聞、県民福井、朝日、2/3、しんぶん赤旗に記事が載る。

坂井市議会議長 橋本充雄 様

## 市長への要請が実現できるよう、議会のご協力ご尽力をお願いします

2015年1月30日

いらんぞ原発！坂井市民の会

日ごろ、市民の生命とくらしを守る市政にご尽力いただき、感謝申し上げます。

つきましては、今すすめられようとしている原発再稼働についてであります。

私たち「いらんぞ原発！坂井市民の会」は、別紙のように、坂井市長に要請を行います。原発の再稼働が迫ろうとしている今日、市民の生命とくらし最優先の立場から、市長への要請4項目は、是非とも実現しなければならない重要課題であると思います。多くの市民の不安に応えることになると存じます。

坂井市議会として、この要請4項目が実現されるよう、ご協力ご尽力をお願い申し上げます。

### <副議長の回答>

坂井市では、温暖化もあり小学校中学校に冷房機を設置した。福島事故以来、貿易収支は赤字続き。火力発電の燃料費分が赤字になっている。トータルベースとして電気は必要だ。原発の危険性について、福島事故まで知らなかった。危険なものはなるたけなくさなければならぬ。世界中がゼロになったらいい。坂井市では、太陽光発電のほか、風力発電の設置計画が三里浜にある。

(全体として率直な回答であった)

### <意見交換>

**日元久勝** 貿易収支が赤字と言われたが、昨年5月の福井地裁判決をどう受け止めているのか。(副議長からは、判決についてまともな話がなかった)

**野波栄一郎** 判決の一番大事な部分は、人格権＝人間として生きる権利・幸福追求権を含めて、これを超えるものはない。人格権が最高で、これが危ぶまれることは、万が一でもあってはならない。だから、原子炉は動かしてはならないと判決した。

**釣部礼子** 地産地消で、太陽光発電でも小風力発電でも、自分の所で起こした電力は自分の所で使う、このようにするといふ。今は送電線で電力会社に売って、そこから電気を購入している。娘が新しい地産地消システムの電気事業を起こそうとしている。

**竹内謙二** 福島事故で、ドイツのメルケル首相は、技術の高い日本で過酷事故が起こるのでは、原発依存できないと、20年後原発ゼロを決断した。彼女は物理学者だったから決断できた。

**松本 朗** これは議会として対応してほしいという要請なので、是非議会で取り上げて議論するようにお願いしたい。

### <感想>

市長や副議長の回答は、期待外れだった。しかし、このような機会を持ったのは有意義であった。これから、集团的自衛権、消費税増税などで、申し入れをどんどんすべきだ。